

<p>形態機能学 I</p> <p>（細胞と組織、骨筋肉系、消化器系、内分泌系の構造）</p>	<p>講師：</p>	<p>1 年前期</p>	<p>1 単位（30 時間）</p>
<p><b>授業の目標</b></p> <p>人体の正常な発生、骨格と筋、消化器系、内分泌系の構造について理解する。</p> <p><b>授業の内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人体の構造を理解する意味 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）解剖学とは</li> <li>（2）解剖学の歴史</li> </ol> </li> <li>2 人体を形づくるもの <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）細胞</li> <li>（2）組織と器官</li> </ol> </li> <li>3 姿勢と活動に関わる骨格と筋 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）骨格とは</li> <li>（2）骨の連結</li> <li>（3）骨格筋の構造</li> <li>（4）骨格と筋（体幹・上肢・下肢）</li> <li>（5）不随意筋（心筋・平滑筋）</li> </ol> </li> <li>4 栄養と消化に関わる消化器系 <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔から肛門に至る消化器の構造</li> </ul> </li> <li>5 恒常性に関わる内分泌系 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホルモンを分泌する内分泌器官の構造</li> </ul> </li> <li>6 人体の発生 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受精卵から人体が形成されるまでの過程</li> </ul> </li> </ol>			
<p><b>授業方法</b></p> <p>講義</p> <p><b>評価方法</b></p> <p>筆記試験</p>			
<p><b>テキスト</b></p> <p>系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能（1）解剖生理学 医学書院  新版 からだの地図帳 講談社  改訂 人体の構造と機能：解剖生理学 建帛社（Cクラス）</p>			

<p>形態機能学Ⅱ</p> <p>（呼吸器系、循環器系、神経系・感覚器系、腎泌尿器系、生殖器系の構造）</p>	講師：	1 年前期	1 単位（30 時間）
<p><b>授業の目標</b></p> <p>呼吸器系、循環器系、神経系・感覚器系、腎泌尿器系、生殖器系の構造について理解する。</p> <p><b>授業の内容</b></p> <p>1 換気に関わる呼吸器系</p> <p>（1）呼吸器系の構成</p> <p>（2）上気道、気管・気管支、肺、胸膜の構造</p> <p>2 物質の流通に関わる循環器系</p> <p>（1）心臓と末梢循環系の構造、胎児循環</p> <p>（2）血液とリンパ管</p> <p>3 恒常性に関わる神経系</p> <p>（1）脳と脊髄の構造</p> <p>（2）脳神経と脊髄神経</p> <p>（3）自律神経系</p> <p>4 情報伝達に関わる感覚器系</p> <p>（1）感覚の種類と感覚器</p> <p>（2）眼、耳、皮膚、舌の構造</p> <p>5 尿の生成に関わる腎泌尿器系</p> <p>（1）腎臓の構造</p> <p>（2）排尿路（膀胱、尿管、尿道）の構造</p> <p>6 次の世代を生み出す生殖器系</p> <p>（1）男性生殖器の構造</p> <p>（2）女性生殖器の構造</p>			
<p><b>授業方法</b></p> <p>講義</p> <p><b>評価方法</b></p> <p>筆記試験</p>			
<p><b>テキスト</b></p> <p>系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能（1）解剖生理学 医学書院          新版 からだの地図帳 講談社          改訂 人体の構造と機能：解剖生理学 建帛社（Bクラス）</p>			

形態機能学Ⅲ 〔呼吸器系、循環器系、 消化器系、内分泌系の機能〕	講師：	1 年前期	1 単位（30 時間）								
<b>授業の目標</b> 人体及び呼吸器系、循環器系、消化器系、内分泌系の機能を理解する。											
<b>授業の内容</b> <table><tr><td>1 生命活動を営むための細胞と調節機能 （1）細胞の機能 （2）生命維持システムと運動・調節システム （3）ホメオスタシス</td><td>5 栄養を届ける消化と吸収 （1）胃・小腸・大腸の機能 （2）栄養素の消化と吸収 （3）肝臓の機能</td></tr><tr><td>2 生命を維持するための血液と免疫 （1）血液の働き （2）特異的防御機能・非特異的防御機能（免疫） （3）血液の凝固</td><td>6 恒常性を維持する内分泌 （1）自律神経による調節 （2）内分泌とホルモン （3）ホルモンの作用と分泌の調節</td></tr><tr><td>3 呼吸をする （1）内呼吸と外呼吸 （2）呼吸運動と呼吸気量 （3）ガス交換</td><td></td></tr><tr><td>4 物質の流通をつかさどる循環 （1）心臓の拍出機能 （2）血液の循環とその調節</td><td></td></tr></table>				1 生命活動を営むための細胞と調節機能 （1）細胞の機能 （2）生命維持システムと運動・調節システム （3）ホメオスタシス	5 栄養を届ける消化と吸収 （1）胃・小腸・大腸の機能 （2）栄養素の消化と吸収 （3）肝臓の機能	2 生命を維持するための血液と免疫 （1）血液の働き （2）特異的防御機能・非特異的防御機能（免疫） （3）血液の凝固	6 恒常性を維持する内分泌 （1）自律神経による調節 （2）内分泌とホルモン （3）ホルモンの作用と分泌の調節	3 呼吸をする （1）内呼吸と外呼吸 （2）呼吸運動と呼吸気量 （3）ガス交換		4 物質の流通をつかさどる循環 （1）心臓の拍出機能 （2）血液の循環とその調節	
1 生命活動を営むための細胞と調節機能 （1）細胞の機能 （2）生命維持システムと運動・調節システム （3）ホメオスタシス	5 栄養を届ける消化と吸収 （1）胃・小腸・大腸の機能 （2）栄養素の消化と吸収 （3）肝臓の機能										
2 生命を維持するための血液と免疫 （1）血液の働き （2）特異的防御機能・非特異的防御機能（免疫） （3）血液の凝固	6 恒常性を維持する内分泌 （1）自律神経による調節 （2）内分泌とホルモン （3）ホルモンの作用と分泌の調節										
3 呼吸をする （1）内呼吸と外呼吸 （2）呼吸運動と呼吸気量 （3）ガス交換											
4 物質の流通をつかさどる循環 （1）心臓の拍出機能 （2）血液の循環とその調節											
<b>授業方法</b> 講義											
<b>評価方法</b> 筆記試験											
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能（1）解剖生理学 医学書院 新版 からだの地図帳 講談社											

<p>形態機能学Ⅳ</p> <p>骨格と筋系、神経系・感覚器系、腎泌尿器系の機能</p>	<p>講師：</p>	<p>1 年後期</p>	<p>1 単位（30 時間）</p>
<p><b>授業の目標</b></p> <p>骨格と筋系、神経系・感覚器系、腎泌尿器系の機能を理解する。</p> <p><b>授業の内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 姿勢と活動をつかさどる骨格と筋系 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 筋の収縮</li> <li>(2) 支持と運動（体幹・上肢・下肢・頭頸部）</li> </ol> </li> <li>2 恒常性を維持する神経系・感覚器系 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 脳神経と脊髄神経の機能</li> <li>(2) 脳の高次機能</li> <li>(3) 運動機能と下行伝導路</li> <li>(4) 感覚機能と上行伝導路</li> <li>(5) 視覚、聴覚、平衡覚、嗅覚</li> </ol> </li> <li>3 尿を生成する腎泌尿器系と体液調節 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 尿生成のメカニズム</li> <li>(2) 体液の調節</li> </ol> </li> <li>4 恒常性を維持する体温とその調節</li> </ol>			
<p><b>授業方法</b></p> <p>講義</p> <p><b>評価方法</b></p> <p>筆記試験</p>			
<p><b>テキスト</b></p> <p>系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能（1）解剖生理学 医学書院  新版 からだの地図帳 講談社</p>			

生活形態機能学 〔生活行動からみた人体の構造と機能〕	講師：	1 年後期	1 単位（15 時間）
<b>授業の目標</b> 人体の構造と機能の知識を生活行動「食べる」にあてはめ、どのような構造と機能を使って生活を営んでいるのかを看護に結びつけて理解する。			
<b>授業の内容</b> 1 人間にとって「食べる」とは  2 「食べる」を構成する身体の構造と機能 （1）食欲を感じる （2）食物を口に入れる （3）咀嚼し味わう （4）飲み込む （5）消化・吸収し必要なものをつくる材料にする  3 生活行動「食べる」に必要なアセスメントの視点 （1）栄養状態のアセスメント （2）摂食・嚥下機能のアセスメント （3）日常生活への影響  4 「食べる」に障害のある患者の機能変化 （1）日常生活行動の食べるとの違い （2）使わない機能 （3）機能を使わないことの影響			
<b>授業方法</b> 講義 演習 <b>評価方法</b> 筆記試験、課題			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能（1）解剖生理学 医学書院 看護 形態機能学 日本看護協会出版会			

代 謝 学	講師：	1 年後期	1 単位（30 時間）
<b>授業の目標</b> 人体を構成している物質と代謝機能を理解し、日常生活や健康障害との関連を理解する。			
<b>授業の内容</b> 1 人体の構成成分  2 酵素と補酵素・ビタミン  3 糖質代謝  4 脂質代謝  5 タンパク質代謝  6 生体エネルギーの産生  7 核酸代謝と遺伝子  8 遺伝情報の発現とタンパク質合成  9 ホルモンと代謝調節  10 血液と免疫  11 電解質と尿  12 がん			
<b>授業方法</b> 講義 <b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能（2）生化学 医学書院			

栄 養 学	講師：	1 年後期	1 単位（30 時間）
<b>授業の目標</b> 人間の生命維持、成長・発達における栄養の意義と健康障害時の栄養管理を理解する。			
<b>授業の内容</b> 1 各栄養素の栄養的意義  2 エネルギー代謝  3 食品構成と各種食品の特徴  4 栄養状態の評価・判定と望ましい食生活  5 食べ方と健康  6 ライフステージと栄養  7 健康障害と栄養 （1）消化器障害 （2）循環器障害 （3）糖代謝障害 （4）肝機能障害 （5）腎機能障害 （6）栄養サポートチーム（NST）  8 食事療法の実際 （1）糖尿病食 （2）腎臓食 （3）肝臓病食 （4）高齢者食			
<b>授業方法</b> 講義 <b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能（3）栄養学 医学書院 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 食品解説つき 八訂準拠 新ビジュアル食品成分表 大修館書店			

病理学総論	講師：	1 年前期	1 単位（15 時間）
<b>授業の目標</b> 病気の原因と発生のしくみ、その結果、生体に生ずる病理学的変化や生体機能の変化を理解する。			
<b>授業の内容</b> 1 病気の原因  2 退行性変化と進行性変化  3 先天異常  4 代謝障害  5 循環障害  6 炎症と免疫、膠原病  7 感染症  8 腫瘍			
<b>授業方法</b> 講義 <b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進（1）病理学 <div style="text-align: right;">医学書院</div>			



微生物学	講師：	1 年前期	1 単位（30 時間）
<b>授業の目標</b> 微生物の特徴と疾病との関連性について学び、感染に対する生体の防御機能を理解する。			
<b>授業の内容</b> 1 微生物と微生物学  2 感染と防御機能 （1）感染と感染症 （2）生体防御機能 ①自然免疫 ②獲得免疫（液性免疫、細胞性免疫） ③粘膜免疫 （3）感染源・感染経路 （4）消毒と滅菌 （5）感染症の診断と治療 （6）感染症の現状と対策 ①院内感染 ②日和見感染 ③感染症に関する法律 （7）ワクチンによる感染症予防  3 おもな病原微生物と感染症 （1）細菌感染症 （2）真菌感染症 （3）原虫感染症 （4）ウイルス感染症			
<b>授業方法</b> 講義 <b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進（4）微生物学 医学書院			

疾病治療論 I [ 吸器系障害、循環器系障害 ]	講師：	1 年後期	1 単位（30 時間）
<p><b>授業の目標</b></p> <p>呼吸器系障害及び循環器系障害により生じる生体機能の変化とその検査・治療を理解する。</p> <p><b>授業の内容</b></p> <p>呼吸器系障害</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>疾患 感染症（肺結核、肺炎、インフルエンザ）、呼吸不全、肺腫瘍（がん、中皮腫） 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、自然気胸、肺梗塞、肺塞栓症</li> <li>症状 咳嗽、喀痰、咯血、呼吸困難、胸痛、チアノーゼ、喘鳴</li> <li>検査 画像診断（胸部X－P・CT）、気管支造影、気管支鏡、生検、胸水検査（胸腔穿刺）、呼吸機能検査、動脈血ガス分析、喀痰検査（細胞診、細菌）</li> <li>治療 薬物療法、呼吸理学療法、手術療法、安静療法、胸腔ドレナージ、吸入療法、酸素療法・人工呼吸法</li> </ol> <p>循環器系障害</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>疾患 高血圧、不整脈、心不全、心筋梗塞、狭心症、弁膜症、心内膜炎、心筋症 大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症、静脈瘤</li> <li>症状 動悸、胸痛、呼吸困難、浮腫、失神、四肢の疼痛、チアノーゼ、ショック</li> <li>検査 心電図（標準12誘導・ホルター・負荷心電図）、胸部X－P、心エコー図 心臓カテーテル法、血行動態モニタリング、動脈血ガス分析</li> <li>治療 薬物療法、安静療法、食事療法、心臓カテーテル治療（PCI、カテーテルアブレーション）、ペースメーカー治療、外科的治療（冠動脈バイパス術、弁置換術等）</li> </ol>			
<p><b>授業方法</b> 講義</p> <p><b>評価方法</b> 筆記試験</p>			
<p><b>テキスト</b></p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学（2）呼吸器 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学（3）循環器 医学書院</p>			

疾病治療論Ⅱ ( 消化器系障害、内分泌・代謝系障害 )	講師：	1 年後期	1 単位 ( 3 0 時間 )
<b>授業の目標</b> 消化器系障害及び内分泌・代謝系障害により生じる生体機能の変化とその検査・治療を理解する。			
<b>授業の内容</b> 消化器系障害 <ol style="list-style-type: none"> <li>疾患 食道がん、胃・十二指腸潰瘍、胃がん、大腸がん、肝臓がん、肝炎、肝硬変、イレウス、胆石症</li> <li>症状 嚥下困難、食欲不振・体重減少、腹痛、吐き気・嘔吐、吐血・下血、便秘・下痢、黄疸、腹部膨満（腹水）、肝性脳症</li> <li>検査 肝機能検査、消化管透視、内視鏡検査（腹腔鏡）、超音波検査、肝生検、C T、M R I、P E T、D I C・E R C P、腹腔動脈撮影</li> <li>治療 薬物療法、食事療法、手術療法、放射線療法、腹水穿刺</li> </ol> 内分泌・代謝系障害 <ol style="list-style-type: none"> <li>疾患 糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、メタボリックシンドローム、尿酸代謝障害 甲状腺疾患、副腎疾患</li> <li>症状 高血糖・低血糖症状、意識障害（精神症状）、けいれん（テタニー）、高血圧、やせ・肥満、浮腫、皮膚の異常、甲状腺腫大</li> <li>検査 ホルモンの血中濃度測定、ホルモン及び代謝産物の尿中量測定、画像検査、尿糖・血糖検査、糖負荷試験、基礎代謝率</li> <li>治療 薬物療法、運動療法、食事療法、手術療法</li> </ol>			
<b>授業方法</b> 講義			
<b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門分野 成人看護学（5）消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学（6）内分泌・代謝 医学書院			

<b>疾病治療論Ⅲ</b> (脳神経系障害、運動器系障害)	講師：	2 年前期	1 単位（30 時間）
<p><b>授業の目標</b>          脳神経系障害及び運動機能系障害により生じる生体機能の変化とその検査・治療を理解する。</p> <p><b>授業の内容</b></p> <p>脳神経系障害</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>疾患              脳血管障害（脳内出血、脳梗塞、くも膜下出血）、脳腫瘍、ニューロパチー、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、筋ジストロフィー、重症筋無力症</li> <li>症状              意識障害、失語症・構語障害、運動麻痺、不随意運動、けいれん、感覚障害・視野障害、反射性運動の障害（瞳孔の症状、嚥下障害、排泄障害、呼吸障害）、頭蓋内圧亢進症状、髄膜刺激症状、頭痛</li> <li>検査              脳脊髄液検査（腰椎穿刺）、脳血管造影、CT、MRI、SPECT・PET、神経学的検査、脳波検査</li> <li>治療              薬物療法、手術療法、運動療法、言語療法</li> </ol> <p>運動機能系障害</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>疾患              骨折、脱臼、捻挫、骨腫瘍、脊髄損傷、脊椎症、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、関節リウマチ、変形性関節症</li> <li>症状              疼痛、形態の異常、運動麻痺、知覚障害、関節運動の異常、異常歩行・跛行</li> <li>検査              X線検査、MRI、関節・脊髄造影法、関節鏡、各種計測法（徒手筋力テスト等）</li> <li>治療              保存療法（ギプス包帯法・副子法、牽引）、手術療法、理学療法・作業療法、薬物療法、義肢・装具</li> </ol>			
<p><b>授業方法</b>          講義</p> <p><b>評価方法</b>          筆記試験</p>			
<p><b>テキスト</b></p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学（7）脳・神経 医学書院          系統看護学講座 専門分野 成人看護学（10）運動器 医学書院</p>			

<p>疾病治療論Ⅳ</p> <p>（血液・造血器系障害、 腎泌尿器系障害、女性生殖 器系障害）</p>	講師：	2 年後期	1 単位（30 時間）
<p><b>授業の目標</b></p> <p>血液・造血器系障害及び、腎泌尿器系障害、女性生殖器系障害により生じる生体機能の変化とその検査・治療を理解する。</p> <p><b>授業の内容</b></p> <p>血液・造血器系障害</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 疾患 白血病、再生不良性貧血、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、播種性血管内凝固症候群（DIC）</li> <li>2 症状 貧血、出血性素因、脾腫、リンパ節腫脹、アレルギー反応</li> <li>3 検査 末梢血検査、骨髄穿刺・生検、血液型、免疫学的検査</li> <li>4 治療 薬物療法、輸血療法、骨髄移植</li> </ol> <p>腎泌尿器系障害</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 疾患 糸球体腎炎、腎不全、腎硬化症、腎腫瘍、膀胱腫瘍、前立腺肥大、前立腺がん、尿路結石症</li> <li>2 症状 尿の異常（量・色調の異常、たんぱく尿と尿糖）、排尿症状、浮腫、尿毒症</li> <li>3 検査 腎機能検査、X線検査（腎盂・尿道・膀胱造影）、MRI、膀胱鏡、腎生検</li> <li>4 治療 手術療法、碎石術（ESWL、PNL）、薬物療法、食事療法、透析療法</li> </ol> <p>女性生殖器系障害</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 疾患 子宮がん、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍</li> <li>2 症状 性器出血、帯下、疼痛、排尿障害、外陰部搔痒感、卵巣欠落症状</li> <li>3 検査 内診・膣鏡診、細胞診、超音波検査、画像検査（CT、MRI、PET、子宮卵管造影法）、内視鏡検査</li> <li>4 治療 手術療法、薬物療法、放射線療法、膣洗浄・膣タンポン、ダグラス窩穿刺</li> </ol>			
<p><b>授業方法</b></p> <p>講義</p> <p><b>評価方法</b></p> <p>筆記試験</p>			
<p><b>テキスト</b></p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学（4）血液・造血器 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学（8）腎・泌尿器 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学（9）女性生殖器 医学書院</p>			

<p>疾病治療論Ⅴ</p> <p>（麻酔及び手術と全身管理、 リハビリテーション、 放射線療法）</p>	<p>講師：</p>	<p>2 年前期</p>	<p>1 単位（15 時間）</p>
<p><b>授業の目標</b></p> <p>Ⅰ 麻酔及び手術が生体に及ぼす影響を理解する。</p> <p>Ⅱ リハビリテーションの概念を理解し、日常生活行動の自立に向けたリハビリテーションの知識と技術を理解する。</p> <p>Ⅲ 放射線治療の特徴と生体機能の変化を理解する。</p> <p><b>授業の内容</b></p> <div> <div> <p>1 麻酔及び手術と全身管理</p> <p>（1）全身麻酔</p> <p>（2）局所麻酔、局所麻酔薬</p> <p>（3）全身麻酔に必要な薬剤 （筋弛緩薬、麻薬他）</p> <p>（4）麻酔導入・硬膜外麻酔・脊椎麻酔</p> <p>（5）麻酔・手術が及ぼす生体への影響</p> <p>（6）術前評価・術後疼痛管理、術後合併症</p> </div> <div> <p>3 放射線療法</p> <p>（1）放射線医学の成り立ちと意義</p> <p>（2）放射線治療の基礎</p> <p>①放射線の種類</p> <p>②放射線の単位</p> <p>（3）放射線療法に伴う有害反応</p> <p>（4）放射線防護</p> </div> </div> <p>2 リハビリテーション</p> <p>（1）リハビリテーションの定義と理念</p> <p>（2）リハビリテーションの対象と制度</p> <p>（3）疾病・障害・生活機能の分類</p> <p>（4）リハビリテーション医学の基礎</p> <p>①リハビリテーションの展開</p> <p>②ボディメカニクスと運動機能の評価 （関節可動域テスト、徒手筋力テスト、 日常生活動作テスト）</p> <p>（5）リハビリテーション各論</p> <p>①理学療法</p> <p>②作業療法</p> <p>③言語聴覚療法</p>			
<p><b>授業方法</b></p> <p>講義</p> <p><b>評価方法</b></p> <p>筆記試験</p>			
<p><b>テキスト</b></p> <p>成人看護学 周手術期看護論 ノーヴェルヒロカワ</p> <p>系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院</p> <p>系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院</p>			

薬理学	講師：	1年後期	1単位（30時間）
<b>授業の目標</b> 薬物療法による薬物反応を適切に観察・判断するために、薬物の生体に及ぼす影響、薬物の管理方法や法規上の規制等を理解する。			
<b>授業の内容</b> <div> <div> 1 薬の基礎知識  (1) 薬の吸収・分布・代謝・排泄  (2) 主作用と副作用（有害反応） </div> <div> (4) 消化器系に作用する薬  ①消化性潰瘍に用いる薬  ②便秘や下痢に用いる薬  ③消化運動を改善する薬  ④胆嚢・膵臓疾患に用いる薬 </div> </div> <div> <div> 2 医薬品の管理  (1) 医薬品の期限と保存  (2) 処方箋と調剤  (3) 医薬品添付書類  ・配合変化・配合禁忌 </div> <div> (5) 代謝系に作用する薬  ①糖尿病に用いる薬  ②通風・高尿酸血症に用いる薬  ③高脂血症に用いる薬 </div> </div> <div> <div> 3 小児・妊婦・高齢者の薬物療法 </div> <div> (6) 抗炎症薬  (7) 免疫・アレルギー系に作用する薬 </div> </div> <div> <div> 4 薬物療法の実際  (1) 脳・中枢神経系に作用する薬  ①てんかんに用いる薬  ②パーキンソン病とドパミン製剤  ③抗不安・催眠作用を示す薬  ④脳血管障害時に用いる薬  (2) 末梢神経系に作用する薬  ①自律神経系に作用・遮断薬  ②アドレナリン受容体作動・遮断薬  ③コリン受容体作動・遮断薬  ④麻酔薬・筋弛緩薬  (3) 心臓・血管系に作用する薬  ①高血圧症に用いる薬  ②狭心症に用いる薬  ③心機能を助ける薬 </div> <div> (8) 緑内障・白内障に用いる薬  (9) 病原微生物と抗菌薬  (10) 鎮痛薬  (11) 抗がん薬  (12) 薬物中毒と解毒  (13) 漢方薬  (14) 消毒薬 </div> </div> <div> <div> 5 最近の動向  (1) 治験薬と新薬  (2) ジェネリック医薬品  (3) 医薬分業 </div> </div>			
<b>授業方法</b> 講義			
<b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進（3）薬理学 医学書院			

精神保健論	講師：	2 年前期	1 単位（15 時間）
<b>授業の目標</b> こころの健康やこころの発達を人格の成熟やライフサイクル、様々な環境と関連づけて理解する。			
<b>授業の内容</b> 1 精神保健の概念 (1) こころの健康とは (2) こころと身体  2 人格の成熟 (1) 人格の成熟とは (2) 自我防衛のメカニズム  3 心の発達と健康 (1) 心の発達 (2) ライフサイクルにおける心の健康 ①愛着と分離不安 ②コンプレックス ③いじめと登校拒否・不登校 ④アイデンティティの確立 ⑤老化、老後への不安 (3) 環境と心の健康 ①家族関係 ②教育環境 ③職場 ④地域社会  4 医療現場における精神危機  5 災害被災者の精神保健			
<b>授業方法</b> 講義 <b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 医学書院			



医療概論	講師：	2 年前期	1 単位（15 時間）
<b>授業の目標</b> 医療の倫理と患者の人権について理解するとともに、医療政策、医療と経済について看護と関連づけて理解する。			
<b>授業の内容</b> 1 医療の概念 （1）医療とは （2）医療に従事する人々 （3）医療を担う組織 （4）日本における医療と社会 （5）国際化の時代と医療  2 医療と人権 （1）患者の権利尊重の背景 （2）患者の自己決定権と知る権利 （3）インフォームド・コンセント  3 生命倫理・医療倫理 （1）脳死と死の判定 （2）臓器移植 （3）延命治療 （4）安楽死、尊厳死 （5）緩和医療 （6）生命操作時代の学問と教育  4 医療政策と医療システム （1）我が国の医療システムとその役割 （2）我が国の医療の問題  5 医療と経済 （1）国民医療費高騰の背景 （2）国民医療費の高騰への対応			
<b>授業方法</b> 講義 <b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度（1）医療概論 医学書院			

社会福祉論	講師：	2年後期	1単位（30時間）
<b>授業の目標</b> 社会福祉の基本理念と概念を理解し、社会の変化に伴う社会福祉制度及びその活用方法を理解する。			
<b>授業の内容</b> <div> <div> 1 看護と社会福祉  (1) ノーマライゼーション  (2) QOL（生活の質） </div> <div> 2 社会福祉の概念  (1) 社会福祉の定義  (2) 欧米における社会福祉の発達  (3) 日本の社会福祉の発達 </div> <div> 3 わが国の社会保障  (1) 社会保障の概念  (2) 主要な国々の社会保障制度  (3) 社会保険制度  ①医療保険制度  ②介護保険制度  ③年金制度  ④雇用保険、労働者災害補償保険 </div> <div> 4 福祉行政  (1) 福祉行政組織  (2) 社会福祉実践組織  ①社会事業  ②社会福祉法人と社会福祉事業  (3) 社会福祉の専門職種 </div> <div> 5 社会福祉の援助技術  (1) ケースワーク、グループワーク  コミュニティワーク  (2) ソーシャルアクション </div> <div> 6 社会福祉制度とサービス  (1) 生活保護法と施策  (2) 障害者(児)に関わる法と施策  (3) 児童に関わる法と施策  (4) 高齢者に関わる法と施策  (5) その他の施策  ①配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV法）  ②少子化対策 </div> </div>			
<b>授業方法</b> 講義			
<b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障（3） 社会福祉と社会保障 MCメディア出版			

環境保健論 I	講師：	3 年全期	1 単位（15 時間）
<b>授業の目標</b> 環境が人間の健康に及ぼす影響を生活環境の現状から学び、健康の保持・増進と疾病の予防のための活動について理解する。			
<b>授業の内容</b> 1 疾病予防と健康の保持・増進と公衆衛生 （1）公衆衛生とは （2）健康と予防の概念 （3）プライマリ・ヘルス・ケアとヘルスプロモーション （4）公衆衛生の歴史  2 疫学と衛生統計 （1）疫学 （2）衛生統計の現状と推移  3 環境と健康 （1）地球環境問題 （2）生活環境 （3）感染症 （4）食品衛生  4 これからの公衆衛生 （1）国際社会における健康問題 （2）国際保健協力の現状と課題			
<b>授業方法</b> 講義 <b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> わかりやすい公衆衛生学 ニューヴェルヒロカワ 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			

環境保健論Ⅱ	講師：	3 年全期	1 単位（15 時間）
<b>授業の目標</b> ヘルスプロモーションの視点から、地域保健活動を中心とした看護職の役割と機能について理解する。			
<b>授業の内容</b> 1 地域保健と衛生行政 （1）保健所と市町村保健センター （2）地域包括支援センター  2 地域保健活動の実際 （1）保健師の役割 （2）母子保健 （3）成人保健 （4）老年保健 （5）精神保健  3 地域以外の保健活動の実際 （1）学校における保健教育と保健管理 （2）職場における健康管理と職業病			
<b>授業方法</b> 講義 <b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> わかりやすい公衆衛生学 ノーヴェルヒロカワ 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			

医療関係法規	講師：	3 年前期	1 単位（15 時間）
<b>授業の目標</b> 保健医療制度に関する法律を知り、看護職として活動するために必要な資格制度等を理解する。			
<b>授業の内容</b> <div> <div> 1 法規総論 (1) 法規と行政 (2) 法規の種類 (3) 衛生関係法規の分類 (4) 厚生行政のしくみ </div> <div> 2 医事法規 (1) 医師法・歯科医師法 (2) 薬剤師法 (3) 診療放射線技師法 (4) 医療法 (5) 臨床検査技師等に関する法律 (6) 理学療法士及び作業療法士、言語聴覚士法 (7) 社会福祉士及び介護福祉士法 精神保健福祉士法 (8) 栄養士法 </div> <div> 3 薬事法規 (1) 薬事法 (2) 毒物及び劇物取締法 (3) 麻薬及び向精神薬取締法 (4) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 </div> <div> 4 保健衛生法規 (1) 地域保健法 (2) 学校保健安全法 </div> <div> 5 予防衛生法規 (1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (2) 予防接種法 </div> <div> 6 環境衛生法規 </div> <div> 7 労働関係法規 (1) 労働基準法 (2) 労働安全衛生法 (3) 育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 (4) 雇用分野における男女の均等な機会及び待遇の確保に関する法律 </div> </div>			
<b>授業方法</b> 講義			
<b>評価方法</b> 筆記試験			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度（4）看護関係法令 医学書院 看護六法 新日本法規出版			

看護関係法規	講師：	3 年前期	1 単位（15 時間）
<p><b>授業の目標</b></p> <p>看護に携わる者に最も重要な保健師助産師看護師法を理解し、看護の役割及びその法的責任について理解する。</p> <p><b>授業の内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健師助産師看護師法 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）制定と改正の経緯</li> <li>（2）保健師助産師看護師法の構造と付属法令</li> <li>（3）目的、定義</li> <li>（4）免許、試験、学校・養成所</li> <li>（5）保健師、助産師、看護師の業務内容</li> </ol> </li> <li>2 看護師等の人材確保の促進に関する法律</li> <li>3 医療過誤における法的責任</li> </ol>			
<p><b>授業方法</b> 講義</p> <p><b>評価方法</b> 筆記試験</p>			
<p><b>テキスト</b></p> <p>系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度（4）看護関係法令 医学書院</p> <p>看護六法 新日本法規出版</p>			